



平成 25 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 昭 和 真 空
代表者の役職名 代表取締役社長 小 俣 邦 正
コード番号 6 3 8 4
問い合わせ先 取締役管理本部長 田 中 彰 一
電 話 番 号 042-764-0385

業績予想との差異に関するお知らせ

平成24年11月8日に公表しました平成25年3月期の業績予想に関して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

平成25年3月期通期連結業績予想数値との差異（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,257	92	81	91	14.85
今回修正予想 (B)	7,521	10	47	69	11.22
増減額 (B-A)	△736	△82	△33	△22	—
増減率 (%)	△8.9	△88.8	△41.5	△24.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	7,086	△355	△389	△1,539	△249.98

平成25年3月期通期個別業績予想数値との差異（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,175	29	38	6.30
今回修正予想 (B)	7,611	113	135	21.92
増減額 (B-A)	△563	84	96	—
増減率 (%)	△6.9	289.5	247.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	6,892	△427	△1,566	△254.33

差異の理由

(1) 平成25年3月期通期連結業績予想数値との差異の理由

売上高につきましては前回発表より7億36百万円減少し、75億21百万円となりました。当期は当社グループの主要取引先である電子デバイス業界の設備投資に対する姿勢が依然として慎重に推移したことを受けて、受注が低調に推移しました。その中でも受注した案件については、効率生産を推進し、短納期に対応してまいりました。生産計画は概ね順調に推移しましたが、最終的に当期の売上計上に転化できる金額としては下回る形となりました。

損益につきましては、グループ一丸となって推進しているグローバル調達や受注確度によって計画生産を行うなど原価低減への取り組みにより、総利益率の改善効果がありました。固定費についても引き続き削減に努めてまいりましたが、売上金額が不足したことにより、営業利益は前回発表より82

百万円減少し10百万円となる見込みです。経常利益は為替差益の計上等によるプラス要因はあったものの、前回発表より33百万円減少し47百万円となりました。当期純利益は臨時特例企業税の返還がありました。前回発表より22百万円減少し69百万円となりました。

(2) 平成25年3月期通期個別業績予想数値との差異の理由

売上高は連結と同様の理由により、前回発表より5億63百万円減少し、76億11百万円となりました。

損益につきましては、グローバル調達の推進や受注確度に基づく先生産やロット生産などによる原価低減への取り組みにより総利益率が改善しました。また、為替変動により為替差益の計上等があったことなどにより、経常利益は前回発表より84百万円増加し1億13百万円となりました。当期純利益は臨時特例企業税の返還があったことにより、前回発表より96百万円増加し1億35百万円となる見込みです。

以上